稲沢市立三宅小学校　～校長室だより～　Ｅｎｓｅｍｂｌｅ

アンサンブル

2022. 5. 13
No. 3

あいさつが響き合う学校

毎朝、登校時、子どもたちは元気よく、『おはようございます』とあいさつしています。先生方と廊下ですれ違うときには、『こんにちは』と明るくあいさつしています。

また、給食が終わってから、給食当番さんが、ワゴンに食器などを載せて配膳室へ返却します。どの学年も、返却の時には、元気のよい声で「〇年生です。給食ありがとうございました」とあいさつをし、感謝の気持ちをしっかりと伝えています。

５月の月訓は「気持ちのよいあいさつをしよう」です。新学期が始まって１か月たち、ゴールデンウィークも終わって、あいさつについて力を入れるにはよい時期になりました。

今週月曜日の朝会では、「あいさつが響き合う学校」について、次のような話をしました。

私たちの心に、いつも元気を与えてくれるものがあります。何だと思いますか。答えは「あいさつ」です。あいさつは、人と人とをうまく結びつけてくれる魔法の言葉です。あいさつはしたときも、されたときも、心が温かくなってうれしいものです。あいさつを交わすことは、自分と相手を元気にすることなのです。

「あいさつが響き合う学校」は、笑顔も、元気も、優しさもいっぱいになります。あいさつするときは「【あ】【い】【さ】【つ】」の頭文字をつなげて、次のようなことを意識して取り組むとよいでしょう。

【あ】は、明るく
【い】は、いつでも
【さ】は、先に
【つ】は、続けて　です。

これらのことを心がけると、さらに気持ちがよく、自分の心も満たされて、元気になれます。「あいさつが響き合う学校」は、自分にも皆にも元気を与えてくれます。ぜひ、あいさつがたくさん響き合う、元気いっぱいの三宅小学校にしていきましょう。

「あいさつが響き合う学校」

三宅小学校を、そんな素敵な学校にしたいです。